

ウェルネスバレーワンストップ窓口事業から認知機能に関する実証を開始！ 大府市内で初のスタートアップとの実証事業

大府市は、市内で初めてスタートアップとの実証事業として、認知機能低下検知実証事業を開始します。

この実証事業は、ウェルネスバレー関係機関と市外内企業との共同研究や実証事業を支援するワンストップ窓口事業から生まれたもので、認知機能に関する実証のため、市ではウェルネスバレーに位置する介護施設「さわやかなの丘」および「メドックガーデンビレッジ緒川」とのマッチングを実現させました。

■ 認知機能低下検知実証事業の概要

経緯／ノバルス株式会社から、認知機能に関する実証実施のため、共同実証に協力可能な介護施設紹介の相談がありました。そこで、ウェルネスバレーの介護施設に照会したところ、さわやかなの丘とメドックガーデンビレッジ緒川から参加の意向があり、実証事業を開始することとなりました。

開発企業／ノバルス株式会社（東京都千代田区神田錦 3-15-16 錦町ブンカイサン 3F）

事業内容／ノバルス株式会社はみまもり電池を活用した高齢者みまもりサービス事業を展開しています。本実証事業では介護施設の協力の下、認知機能に関するデータ取得を行い、認知機能関連のサービス開発に取り組みます。

※みまもり電池：リモコン・照明灯の既存製品の電池ボックスにみまもり電池を装着し、クラウド上で利用状況の確認が可能

実証先施設／さわやかなの丘（大府市半月町 4-188）

事業主体：アイ・ドリームライフサポート株式会社

メドックガーデンビレッジ緒川（東浦町大字緒川字栄 39-1）

事業主体：社会福祉法人成仁会